

平成 25 年度第 1 回コンクリート委員会・第 3 回コンクリート常任委員会議事録（案）

日 時：2013 年 9 月 3 日（火）14 時～17 時

場 所：土木学会 講堂

出席者：二羽委員長，岩波幹事長，石橋、魚本、町田、三浦、山本の各顧問、伊東、岩城、梅村、遠藤、大郎、佐藤(良)、城国、手塚、鳥居、原田、松田(浩)、渡辺(忠)の各委員、綾野、池田、井上、上田、宇治、内田、梅原、河合、河野、半井(岸委員の代理)、佐伯、坂井、佐藤(靖)、田中、谷村、土谷、津吉、中村、名倉、信田、橋本、前川、松田(隆)、丸山、睦好、森、横田、渡辺(博)の各常任委員，石田，小林、下村、濱田（記録），久田（司会），丸屋の各常任委員兼幹事，宮里（オブザーバー参加）、二瓶（事務局）（敬称略）

配付資料：

- 3-0 平成 25 年度 第 1 回コンクリート委員会・第 3 回コンクリート常任委員会 議事次第
- 3-1 平成 25 年度 第 2 回コンクリート常任委員会 議事録（案）
- 3-2 土木学会コンクリート委員会 委員会活動報告 第一種・第二種委員会活動状況の報告
- 3-3 土木学会コンクリート委員会 委員会活動報告 第三種委員会活動状況の報告
- 3-4 維持管理編改訂資料 説明資料
- 3-5 ダムコンクリート編改訂資料 説明資料
- 3-6 津波による橋梁構造物に及ぼす波力の評価に関する調査研究委員会 報告資料
- 3-7 規準関連小委員会 委員構成（案）
- 3-8 教育研究小委員会 委員構成
- 3-9 第二種委員会 示方書連絡調整小委員会 委員構成
- 3-10 コンクリート構造物の安全確保のためのシステムに関する研究小委員会（225） 委員構成
- 3-11 コンクリートトンネル構造物の耐火技術研究小委員会（270） 委員構成（案）
- 3-12 コンクリート標準示方書に基づく数値解析認証小委員会 委員構成（案）
- 3-13 平成 25 年度コンクリート委員会 一般会計予算（案）
- 3-14 材料劣化が生じるコンクリート構造物の維持管理優先度研究小委員会（342 委員会（第 2 期））委員構成
- 3-15 セメント系構築物と周辺地盤の化学的相互作用研究小委員会（345 委員会） 委員構成
- 3-16 塩害環境の定量評価に関する研究小委員会（348） 委員構成
- 3-17 2013 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う講習会のご案内
- 3-18 若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会
- 3-19 「津波による橋梁構造物に及ぼす波力の評価」に関する成果報告会開催のご案内

議 事：

1. 委員長挨拶

二羽委員長より以下の挨拶があった。

「猛暑、集中豪雨、竜巻など異常気象が続いています。本日は年に一度の合同委員会であり、この 1 年間のコンクリート委員会の活動を報告する貴重な機会です。また、本年は示方書発刊の年でもあり、明日からは全国大会も始まります。本日は、委員の皆様の忌憚のないご意見をお願いいたします。」

2. 平成 25 年度第 2 回コンクリート常任委員会議事録の確認【資料 3-1】

久田幹事より資料を用いて平成 25 年度第 2 回コンクリート常任委員会議事録（案）が報告され、以下の修正意見が出され、議事録を修正した。

- 1) 3 ページ、4. 報告、(3) ベトナムでのジョイントセミナー

「参加要請がなされた」を削除する。

- 2) 3 ページ、3. 審議事項、(6) その他

「改訂がなされていないので」を「改訂がなされていないようなので」に修正する。

また、この件について、岩波幹事長より、舗装標準示方書は 2014 年の発刊を目的に改訂作業を実施中で

あるため、コンクリート委員会としては進行を見守ることとしたとの報告がなされた。

コンクリート委員会からも委員を出すべきとの意見が出されたが、これに対して、河野委員、佐藤（良）委員、下村幹事、岸委員が参画していたとの報告があった。

その他は、異議なく承認された。

3. 審議事項

(1) 1種2種委員会活動報告【資料3-2】

二羽委員長より資料に基づき説明がなされた。これに対して、特に意見はなかった。

(2) 3種委員会活動報告【資料3-3】

岩波幹事長より資料に基づき説明がなされた。これに対して、特に意見はなかった。

(3) 示方書改訂資料【維持管理編】の審議【資料3-4】

横田維持管理編主査より資料に基づき説明がなされた。併せて、8月末で完成したことに対するお礼が表明された。これに対して、以下の質問がなされ、同じく以下の回答がなされた。

佐藤（良）委員より質問

「3章で記述されているひび割れについて、劣化により発生したひび割れを対象としていることを明確に記述しているか。」

横田主査より回答

「劣化によるひび割れが対象であることを明確に記述している。」

改訂資料に関する今後の予定として、改訂資料のファイルを河合委員よりコンクリート常任委員に配信するので、修正意見を9月9日（月）までに河合委員へ連絡することとした。

最終の修正を入れることで、発刊が了承された。

(4) 示方書改訂資料【ダムコンクリート編】の審議【資料3-5】

宇治ダムコンクリート編主査より資料に基づき説明がなされた。これに対して、以下の質問がなされ、同じく以下の回答がなされた。

鳥居委員より質問

「ローモンタイト、モンモリロナイト、ASRに関して、岩石を判断できる技術者が減っている。鉱物の含有率の規準を判断できなくなる懸念があるのではないか。」

宇治主査より回答

「有害鉱物の含有量は参考値として記述している。技術者の減少も考慮に入れて、乾湿繰返し試験などの物理的試験で判定することになっている。」

河野委員より質問

「凍結融解抵抗性を判断するために、気泡間隔係数を義務付けるのか。」

宇治主査より回答

「気泡間隔係数はあくまで確認をするための位置付けであり、ダブルチェックの意味である。」

山本顧問より質問

「背景となる実験データは、91日材齢で不合格だったのか。」

宇治主査より回答

「91日材齢で不合格だった。」

山本顧問より質問

「最終的には、使用可と判断したのか。」

宇治主査より回答

「使用不可と判断した。気泡間隔係数により、原因を確認した。」

山本顧問よりコメント

「気泡間隔係数の位置づけを再度確認して欲しい。」

河野委員よりコメント

「凍結融解試験で不合格の場合は、配合を変えることが原則である。本編と標準の整合性が取れているかを確認していただきたい。」

宇治主査より回答

「気泡間隔係数と空気量の関係などを予め確認しておく、という記述になっている。凍結融解試験で不合格の場合は、当該コンクリートは使用できないのが基本である。全体的に文章を見直す。」

改訂資料に関する今後の予定として、改訂資料のファイルを宇治主査よりコンクリート常任委員に配信するので、修正意見を9月9日(月)までに宇治主査へ連絡することとした。

最終の修正を入れることで、発刊が了承された。

(5) 津波委員会報告書の審議【資料3-6】

丸山委員長より資料に基づき説明がなされた。

三浦顧問より以下の質問がなされた。

「大きな船舶の衝突なども考慮しているのか。また、洪水との違いはどこにあるのか。」

丸山委員長より以下の回答が示された。

「浮遊物の衝突に関しては、十分な検討はできなかった。局所的な評価は困難であり、平均的な評価となっている。なお、洪水との大きな違いはない。」

修正意見を9月9日(月)までに丸山委員長へ連絡することとし、発刊が了承された。

(6) 第1種、第2種委員会の委員構成【資料3-7～3-12】

二羽委員長より資料に基づき、以下の6委員会の委員構成について説明がなされ、いずれも承認された。

(1) 規準関連小委員会 (102)

(2) 教育研究小委員会 (201)

(3) 示方書連絡調整小委員会 (224)

(4) コンクリート構造物の安全確保のためのシステムに関する研究小委員会 (225)

(5) コンクリートトンネル構造物の耐火技術研究小委員会 (270)

(6) コンクリート標準示方書に基づく数値解析認証小委員会 (227)

(7) 予算計画【資料3-13】

岩波幹事長より資料に基づき、平成25年度のコンクリート委員会の予算案について説明がなされ、承認された。

(8) その他

河野委員より、以下の質問および発言があった。

「270委員会：コンクリートトンネル構造物の耐火技術研究小委員会について、新設の構造物を対象としているのか、既設の構造物を対象としているのか。また、事故の発生確率も考慮して最適な方法を示して欲しい。」

これに対して、岩波委員長より、以下の回答がなされた。

「新設も既設も対象としているが、メインは既設である。225委員会：コンクリート構造物の安全確保のためのシステムに関する研究小委員会とも関連するが、事故の発生確率も考慮に入れた検討を行っている。」

4. 報告事項

(1) 平成25年度土木学会全国大会における研究討論会

下村幹事より研究討論会の紹介があり、積極的な参加が要請された。

(2) 第3種委員会の委員構成【資料3-14～3-16】

久田幹事より、以下の3委員会の委員構成について説明がなされた。

(1) 材料劣化が生じるコンクリート構造物の維持管理優先度研究小委員会 (342) 第2期

(2) セメント系構築物と周辺地盤の化学的相互作用研究小委員会 (345)

(3) 塩害環境の定量評価に関する研究小委員会 (348)

(3) 報告会・講習会開催予定【資料3-17～3-18】

久田幹事より、以下の講習会について紹介がなされた。

(1) 示方書講習会【維持管理編，ダムコンクリート編】（東京：10/11，大阪：10/16）

(2) 若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会（12/4）

(4) その他

小林幹事より、CONMAT 国際会議について、2015 年 8 月 19 日～21 日、カナダにおいて開催されることが紹介された。

岩波幹事長より、341 委員会：施工性能にもとづくコンクリートの照査・検査システム研究小委員会の成果報告会が、11 月 26 日土木学会講堂で開催されることが紹介された。

5. 次回開催日の確認

第 4 回コンクリート常任委員会は下記の日時，場所で開催することを確認した。議題については 11 月 18 日（月）までに幹事へ提出いただく。

日 時：2013 年 11 月 29 日（金）14 時～17 時

場 所：土木学会 AB 会議室（予定）

以 上